

事業所保存・閲覧用

(評価者の個人名は非公表とされており、保護者様・来訪者様等の閲覧用には、こちらの副本をご使用くださいますようお願いいたします)

東京都福祉サービス第三者評価(2023年度) 評価結果報告書

2024年3月22日

株式会社アイ・エス・シー
ウィズブック保育園武蔵小山パルズ 御中

〒 160-0023

所在地 東京都新宿区西新宿6-15-1
セントラルパークタワー ラ・トゥール新宿707

評価機関名 特定非営利活動法人福祉総合評価機構

認証評価機関番号

機構 03 -

電話番号 03-6279-0331

代表者氏名 理事長 中込 重秋



以下のとおり評価を行いましたので、東京都福祉サービス評価推進機構に報告いたします。

評価者 (評価者養成講習修了者番号及び担当分野)	修了者番号		担当分野	
	①	H1501066	<input checked="" type="checkbox"/> 福祉	<input type="checkbox"/> 経営
	②	H0702006	<input checked="" type="checkbox"/> 福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 経営
	③	H0702077	<input checked="" type="checkbox"/> 福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 経営
	④	H0902065	<input checked="" type="checkbox"/> 福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 経営
	⑤	H1001023	<input checked="" type="checkbox"/> 福祉	<input type="checkbox"/> 経営
	⑥		<input type="checkbox"/> 福祉	<input type="checkbox"/> 経営
福祉サービス種別	認可保育所			
評価対象事業所名称	ウィズブック保育園武蔵小山パルズ			
事業所連絡先	〒	142-0062		
	所在地	東京都品川区小山4-14-10		
	TEL	03-6451-3846		
事業所代表者氏名	藤沼 裕子			
契約日	2023年	8月	1日	
利用者調査票配布日(実施日)	2023年	10月	16日	
利用者調査結果報告日	2024年	2月	10日	
自己評価の調査票配布日	2023年	10月	3日	
自己評価結果報告日	2024年	2月	10日	
訪問調査日	2024年	2月	19日	
評価合議日	2024年	2月	19日	
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	・利用者調査は共通評価項目及び事業所と協議のうえ設けた独自質問により、インターネットでのウェブアンケート形態で実施した。また調査開始時に書面・ポスターの配信や配付・掲示等で保護者の理解促進を図るほか、開始後には提出御礼と提出促進を兼ねたチラシの配信・配付、提出期限の延長など、回答率向上にも努めた。 ・事業所に対しては開始時の説明や独自資料の提供等により、第三者評価制度や評価項目・標準項目への理解を深めてもらうほか、職員層も標準項目単位で評価を行えるようにするなど、自己評価がよりの確なものとなるよう配慮した。			

1	<p>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p>
	<p>事業者が大切にしている考え(事業者の理念・ビジョン・使命など)のうち、特に重要なもの(上位5つ程度)を簡潔に記述 (関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てに関わる保護者や人の成長と豊かな心と言葉を持つ子どもたちの育成を実現し、人を大切にする社会をめざします。 ・子どもたちの持つ無限の可能性を引き出し、そのらしさと伸びるチカラを育みます。 ・子育てに頑張る保護者さまや家族の育ち合いに、寄り添い支援する存在であり続けます。 ・子どもたち、保護者様、保育士たちなど地域を含めた子どもに関わるすべての人たちが育ち合える場所や機械を提供します。 ・子どもたちに、探求とできる自分を意識づけられる時間を与える目的で、WithBookプログラムを活用した保育活動を行います。
2	<p>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</p>
	<p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <p>保育士は子育ての専門家としての学びと保護者さまへの子育て支援に努めます。子どもに、より豊かな人的環境を形成するため、地域社会との連携に努めます。</p> <p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <p>5つの行動指針</p> <ul style="list-style-type: none"> ＜安全＞一人一人が安全について意識を高く持ち、自ら動きます。 ＜未来志向＞子どもの未来の幸せにつながるか、ともに笑顔で続けられる事かを判断基準にします。未来の幸せのために、常に子ども大人も学びあい成長し、進化を楽しみます。 ＜らしさ＞関わるすべての子ども・大人のらしさを引き出し認め合い融合します。保育で自信のある得意分野を持つことで、自分らしさを醸成します。 ＜尊重＞子どもの時間、ひとりひとりの個性など子どもに関わるすべてのことを尊重します。職員同士、それまでの経験や立場を尊重し合いながら、子どもとその未来に共に向き合います。 ＜自律＞笑顔でいられるために、自律ルールを持ち一人で悩まず助け合い学び合う姿勢を大切にします。

調査対象

調査開始時点での当園の利用世帯85(在籍児童数98)を対象として実施した。なお、兄弟姉妹がいる世帯は1世帯として扱った。

調査方法

調査票及び調査項目は共通評価項目に準拠した。ウェブアンケート形態により実施し、回収は保護者から評価機関への直接電送(外国語世帯のみ調査票の直接郵送)にて行った。結果は選択式・自由記述とも園に報告し、自由意見には回答者の匿名性に配慮した処理を適宜行った。

利用者総数	98
利用者家族総数(世帯)	85
共通評価項目による調査対象者数	85
共通評価項目による調査の有効回答者数	47
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	55.3

利用者調査全体のコメント

総合的な満足度は「大変満足」53.2%・「満足」40.4%の計93.6%と高い値を得ており、設問別では「発達に配慮した保育活動」「子どもの興味・関心の伸長」「急な残業等への配慮」「子どもの気持ちの尊重」など全17問中14問で80～90%台の高い支持を得ている。一方、「外部相談窓口の周知」では50%を下回っている。自由意見では「新しいプログラムや取組を積極的に採り入れ、飽きないように工夫され、担任の先生以外も温かく声をかけてくれ、よく見てもらっていると感じ、積極的にコミュニケーションを取ろうと歩み寄ってくれる」「細かいところまでしっかりと伝えてくれ、安心して預けており、ご飯も市販のお菓子やかなり甘いおやつを出されることがなく、ありがたい。季節ごとのイベントもあり、先生方が頑張ってくれるので大変楽しく過ごさせてもらっている」「おむつやエプロンなど、保護者の手間が少なく助かり、担任以外の保育士や、クラスを越えた交流が多くあり、子どもの自由な発想や遊びを大切にしている」などの声が寄せられている。さらなる向上を望む意見としては近隣との関係性や区の対応、園から保護者への情報発信に関することなどが見られた。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	45	2	0	0
<p>実質的な満足度(「無回答・非該当」を除いた割合・以下同)は、「はい」が95.7%、「どちらともいえない」が4.3%となっている。自由意見は13件で、「とても役に立っており、最近ではいろいろな言葉を覚えてきたり、思いやる気持ちも見受けられる」「家以外の刺激を外から受けることで、子どもの学ぶこと・感じるが増えている実感があり、表現の幅も広がっている」「先生や友達との関わり、家ではできない遊びなどを通して、心身ともにいい刺激をたくさんもらっている」「生活力が身についていると感じる」などの声が寄せられている。</p>				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	44	3	0	0
<p>「はい」が93.6%、「どちらともいえない」が6.4%となっている。自由意見は9件で、「外出・遊び・絵本の読み聞かせ・給食など、家とは違う興味や関心を持っていて感じている」「好き放題絵の具を楽しませてくれたり、室内で水遊びをさせてもらったりと、活動もさまざまでありがたく、イベントなども開催してくれていて本人も楽しんでいる」「英語や縦割り活動など、子どもにとってよい刺激となっている」「発達段階に合わせて子どもたちが興味を持てるように工夫してくれている」などの声が寄せられている。</p>				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	43	3	0	1
<p>「はい」が93.5%、「どちらともいえない」が6.5%となっている。自由意見は8件で、「体に優しいものを作ってくれていると思い、郷土料理を提供してくれるなど、食育にも力を入れてくれているので、素晴らしい」「施設で手作りの温かい食事を提供してもらえるだけでうれしいが、郷土料理の提供や食育も行ってきている」「アレルギーへの配慮がきちんとしていて、毎日違う食材を提供してくれる」「好き嫌いをくいつも食べており、大変ありがたい」「おいしい」「おいしい」などのほか、食材などについて、さらなる配慮を望む声が見られる。</p>				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	33	11	3	0
<p>「はい」が70.2%、「どちらともいえない」が23.4%、「いいえ」が6.4%となっている。 自由意見は16件で、「季節の行事に力を入れてくれていると思う」「定期的にお散歩がてら、地域の方とも交流してくれているようだ」「まだ歩けなくても、天気がよい日は散歩に連れて行ってくれる」「行事など先生方がとても熱心に取り組んでいることがわかり、とてもありがたい」「保育園側はとても頑張ってくれているのがわかる」などのほか、戸外活動等のさらなる充実を望む声や、近隣との関係性に言及する内容が寄せられている。</p>				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	39	1	0	7
<p>「はい」が97.5%、「どちらともいえない」が2.5%となっている。 自由意見は7件で、「アプリでの連絡で簡単に連絡できるシステムが整っているうえ、電話対応も迅速だ」「繁忙期に朝早めに預けているが、連携もアプリ経由のためスムーズだ」「電話連絡時も優しく返答してくれ、プラスアルファの声かけ(気をつけてお越しくださいね)もあり、感謝している」「夫婦ともに労働時間のぶれが大きく、送迎時間にも差が出ているが、いつも笑顔で迎えてくれて感謝している」などのほか、夕食提供の融通性について、さらなる検討を望む声があった。</p>				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	36	8	3	0
<p>「はい」が76.6%、「どちらともいえない」が17.0%、「いいえ」が6.4%となっている。 自由意見は7件で、「先生の目がよく行き届いている」「外への扉と門の施錠はしっかりしており、門も開けっ放しにしないように保護者への通達がされている」「施設での対応は問題ないと感じている」のほか、外部侵入対策や保育中の安全管理、感染症対策等について、気になる点や要望が挙げられている。</p>				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	40	5	0	2
<p>「はい」が88.9%、「どちらともいえない」が11.1%となっており、「はい」の値は前回(2020年度・以下同、64.5%)から改善されている。 自由意見は7件で、「土日で設定してくれてありがたい」「基本的に土日に実施で参加しやすい」「土曜日設定が多く、助かっている」「夏祭りなど、土曜日に行ってくれた」「楽しい行事を開催してくれ、わが子ども毎回楽しく参加している」などのほか、行事の日程の設定について、さらなる工夫を望む声寄せられている。</p>				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	40	5	2	0
<p>「はい」が85.1%、「どちらともいえない」が10.6%、「いいえ」が4.3%となっている。 自由意見は7件で、「親身に相談に乗ってくれる」「送迎時や面談時に親身になって話を聞いてくれる」「アプリの連絡帳だけでなく、送り迎えの時に積極的に保育士から話しかけてくれ、園での様子を伝えてくれる」「子どもの成長と保護者に寄り添ってくれ、とても助けられており、情報開示も透明性があり、安心して子どもを預けられる」などのほか、コミュニケーション機会の確保や送迎時の職員の対応について、さらなる配慮を望む声寄せられている。</p>				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	38	7	2	0
<p>「はい」が80.9%、「どちらともいえない」が14.9%、「いいえ」が4.3%となっている。 自由意見は6件で、「いつもきれいだ」「いつも清潔に保たれている」「いつも掃除をしてくれている先生を見かける」などのほか、清掃について、さらなる配慮を望む声寄せられている。</p>				
10. 職員の接遇・態度は適切か	44	3	0	0
<p>「はい」が93.6%、「どちらともいえない」が6.4%となっている。 自由意見は5件で、「どの方も丁寧な笑顔で明るく接してくれる」「いつもとても丁寧に話してくれている」「いい先生ばかりだ」のほか、職員の保護者・子どもへの言葉遣いや挨拶、身だしなみなどについて、さらなる配慮を望む声寄せられている。</p>				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	42	5	0	0
「はい」が89.4%、「どちらともいえない」が10.6%となっている。 自由意見は8件で、「小さな異変でも見落とさずに対応してくれる」「とても小さなケガ一つでも必ず報告してくれる」「看護師の先生に見てもらっていることと、連絡も必ずもらっているので安心している」などのほか、ケガ・体調不良時の保護者への報告・説明、感染症対策などについて、さらなる検討を望む声が寄せられている。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	31	5	1	10
「はい」が83.8%、「どちらともいえない」が13.5%、「いいえ」が2.7%となっており、「はい」の値は前回(72.0%)から改善傾向が見られる。 自由意見は2件で、「まだ乳児なのでそこまで問題という経験もなく、対応に関してはまだよくわからない(非該当)」のほか、トラブル発生時の保護者への報告・説明について、さらなる配慮を望む声が寄せられている。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	45	2	0	0
「はい」が95.7%、「どちらともいえない」が4.3%となっている。 自由意見は3件で、「散歩した先の公園などで歩きたがっていたため、靴を持って行って歩かせてくれた」「トイレトレーニングに難渋していたが、『おさんと相談しながら進めますね』と、子どもの気持ちを尊重してくれた」「職員による」との声が寄せられている。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	37	6	0	4
「はい」が86.0%、「どちらともいえない」が14.0%となっている。 自由意見は2件で、「連絡帳で他の子どもとのやり取りの様子を伝えてくれる時も、名前は書かないなど、きちんと線引きされているように思う」のほか、プライバシー保護等へのさらなる配慮を望む声が寄せられている。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	40	7	0	0
「はい」が85.1%、「どちらともいえない」が14.9%となっており、「はい」の値は前回(66.7%)から改善されている。 自由意見は3件で、「毎日の連絡帳に子ども個人のエピソードを書いてくれており、様子がわかり、いつも楽しみにしている」「定期的に面談を設けるなどして、不明点がないように説明機会を設けてくれている」のほか、子どもの成長・発達や日頃の生活などの保護者との共有について、さらなる検討を望む声が寄せられている。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	39	2	3	3
「はい」が88.6%、「どちらともいえない」が4.5%、「いいえ」が6.8%となっており、「はい」の値は前回(76.4%)から改善傾向が見られる。 自由意見は5件で、「伝えた時には対応してくれていると思う」「園長がしっかりと対応してくれた」「不満は今のところ特にない」などのほか、保護者の不満・要望等への対応について、さらなる配慮を望む声が寄せられている。				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	15	10	10	12
「はい」が42.9%、「どちらともいえない」が28.6%、「いいえ」が28.6%となっている。 自由意見は3件で、「関連する掲示物がわかりやすい位置にあり、よいと思う」のほか、外部の意見窓口の周知について、さらなる配慮を望む声が寄せられている。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/> 非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している <input type="radio"/> 非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている <input type="radio"/> 非該当
	カテゴリ1の講評	
	法人のビジョンや保育理念が示されており、職員・保護者への周知が図られている 法人のビジョンや保育理念に、豊かな心と言葉を持つ子どもの育成、「その子らしさと自ら伸びるチカラ」の育みや、子育てに関わる保護者の成長、それらを通じた「人を大切にする社会」の実現を掲げるとともに、子どもの人権・人格の尊重や心身を豊かに育む体験の保障、保護者・地域への支援など、大切にしている考え方や保育の特徴等を定めている。これをホームページやマニュアル等に示され、職員には入職時やその後の各種研修、毎月の会議等により、理解と周知が促されている。保護者には見学・入園時の説明、園便りや保護者会などで伝えられている。	
	経営層の職責やマネジメント方針等を踏まえつつ、目指す園づくりに注力している 経営層を含む各職位・職種の職責が、本社策定の人事制度に定められる職務要件などに示されている。また、会社のマネジメントポリシーを事務所に掲示し、職員の規範としての振舞い、「らしさ」を尊重した組織運営の指針、経営層の一員としての視座・考え方などの6項目を踏まえ、園長が経営資源のマネジメントを行うこととしている。また、子ども・職員もそれぞれの「らしさ」を尊重するとともに、日々の保育での地域との関わりや、地域子育て支援の活動の充実のほか、職員同士が互いに意見を交わし、気遣いをし合える職場風土づくりに努めている。	
	各種の重要な案件の検討と決定を図り、内容に応じて関係者への周知がなされている 法人の園長会では系列園共通の課題等を検討し、決定された方針等を踏まえ、各園での取組を行うこととなっており、適宜、職員にその内容を伝えている。園内の諸課題や運営上の検討事項等は、主任・リーダー会議や毎月の職員会議で、内容や緊急性に応じて話し合わせ、決定されている。また欠席者や非常勤者には個別の伝達やアプリを活用した園内連絡等により、共有を図るほか、クラス会議にてそのクラス内での情報共有を行っている。保護者には主に連絡通信アプリでの発信や書面の掲示、懇談会・運営委員会により、重要な決定・変更等を通知している。	

カテゴリー2		
2	事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行	
サブカテゴリー1(2-1)		
	事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/6
	評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している	評点(〇〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-2(2-2)		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
実践的な計画策定に取り組んでいる			
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している		○非該当
●あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している		○非該当
●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている		○非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している		○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる		○非該当
カテゴリ-2の講評			
さまざまな機会や取組を通じて保護者の意向等を把握し、課題検討に活かしている 保護者の意向等については、日々の連絡アプリのやり取りや対面のコミュニケーションなどで把握するほか、行事前の意向を調査する連絡アプリによるアンケートや行事後の感想などから課題を抽出し、次の企画等の参考としている。毎年の会社が実施する保護者向けのアンケートや、定期的に受審する第三者評価に伴う利用者調査などでも園に対する保育・運営に関する満足度や要望などを把握し、これらを運営の見直しや課題検討に活かしている。また園長・主任や保護者代表、第三者委員が参加する運営委員会を実施し、園への要望等の意見交換を図っている。			
地域内の状況や身近な保育・子育てのニーズ等の収集と、経営状況の管理を行っている 地域の子育てや福祉の状況は、区の各種発信や私立保育所園長会、地域のブロック会議等を通じて把握し、見学者や地域子育て支援「どんぐりクラス」の参加者との会話から、身近な保育や子育てに関するニーズを収集している。保育・福祉関連の行政政策や制度の動向は、区の発信や園長会、本社発信の各種の情報から把握するほか、職員の園運営や保育・行事などに関する意見は、各会議や園長と各人との面談、本社の窓口などを通じて把握している。また収支・稼働率等の園の経営状況の管理は、主に本社が園の状況を随時把握して行っている。			
中長期と年間の事業計画のほか、各分野の計画を作成し、それぞれの実行をしている 2023年度の中長期計画書を作成しており、目標・ビジョン・運営理念と目指す子どもの姿を示したうえで、運営と保育の2つの軸をもとに、2023年度とそれ以降の重点的な項目を列挙している。保育や保護者・地域への支援、人材育成や組織運営、安全管理などの各分野について、年度の園の方針や取組内容を定めた事業計画のほか、本社が園の状況を踏まえ、年度の予算の作成と管理を行っている。保育・行事や避難訓練などの分野では、年間から日までの各期間の計画を作成し、その実践と進捗確認がなされている。			

3 経営における社会的責任		
サブカテゴリ1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ2(3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況
		5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○非該当
カテゴリ-3の講評		
職員の行動・判断の規範等の理解と実践を促し、「らしさ」の尊重に努めている 本社の行動指針として「安全」「未来志向」「らしさ」「尊重」「自律」が掲げられ、これを本社及び系列全国の全職員の行動・判断の規範とし、「保育ガイドライン」に保育の各場面での子どもへの望ましい関わりを示している。これらの理解と実践について、入職時の研修や定期的な自己評価、同ガイドラインに関する動画研修などを通じ、各職員への啓発や指導がなされている。また、マニュアルは事務所に常備し、各職員の閲覧に供するほか、「ラウンドレビュー」による園内での点検と指導を行ったり、適宜、会議や園内研修での研鑽機会を設けている。		
苦情解決や虐待防止など、利用者の権利擁護の仕組みを整えている 苦情解決制度について、本社や第三者委員の連絡先を重要事項説明書に明示し、入園時に保護者に説明している。同制度によらない日常的な保護者の要望・苦情等は、日々の会話や連絡アプリなどから把握し、案件に応じた対応を図っている。「運営マニュアル」に、虐待の対応と早期発見の流れ、関係機関との連携の際の注意点などを示し、事務所内で関係機関内の冊子とともに常備し、万が一の対応に備えている。会議において、園で大切にすることや子どもへの声かけなどを確認するとともに、グループワークで子どもへの適切な対応を考える機会を設けている。		
地域への情報発信や「どんぐりクラス」等の開催、関係機関との連携に取り組んでいる ホームページや区の各種媒体、園前のチラシの掲示などで園に関連する情報を地域の方々に発信するほか、地域の未就園児が園の保育を体験できる「どんぐりクラス」の開催や、地域・在園の方でも気軽に来れる「とまりぎステーション」の開放を行っている。また小学生の職場体験や高校生の夏のボランティアなどを受け入れ、本社が整備した対応手順と守秘義務の遵守等の誓約書などを踏まえつつ、それぞれに応じた対応を行っている。区の園長会への参加のほか、公私立保育園地域連携協議会で研修・交流を行っており、地域内での情報交換を図っている。		

カテゴリー4		
4	リスクマネジメント	
サブカテゴリー1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	○非該当
●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当
サブカテゴリー2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	○非該当
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当
カテゴリー4の講評		
<p>保育中の安全管理や感染症・災害など、リスクに対する対策を講じている</p> <p>日常の安全管理や災害発生前の準備、訓練実施の要領などが示された「保育園運営マニュアル」のほか、感染症や災害などの対応マニュアルを整備し、事務所で閲覧に供している。事業継続計画(BCP)には基本方針と、1か月以内の復旧を目指す初期対応、災害時役割分担や発生時の行動、事業継続に向けた状況別の対応と災害対応一覧をまとめており、今後の職員への周知と内容の確認・更新などが課題となっている。また事故報告書やヒヤリハット等の仕組みを整え、記入と要因分析等を行うこととし、看護師から記載方法等の周知がなされている。</p> <p>災害の際の対応力の向上や事故防止の注意喚起などに取り組んでいる</p> <p>事故状況報告書を月ごとでまとめ、発生時間・場所・状況と受傷部位や状況、事故要因などを一覧にし、看護師が評価反省を行ったうえで、職員間で閲覧・共有を図り、各職員への意識啓発に努めている。火災・地震・水害などを想定した訓練のほか、Jアラートや不審者侵入、アナフィラキシーやSIDS・救急救命等の訓練を採り入れており、予告なしや散歩先での地震の想定での訓練のほか、保護者による引き取り訓練などに取り組んでいる。チェックリストに基づく早番や土曜日での業務チェックのほか、各所の安全・衛生面のチェックを行っている。</p> <p>個人情報の取扱いや管理などの徹底に努め、保護者への入園時の説明も行っている</p> <p>「保育園運営マニュアル」に個人情報関連の管理ルールが定められ、入職時の研修等により職員への啓発と注意喚起がなされている。また電子情報・各種端末機器の取扱いには職位別のアカウント設定やフォルダ単位でのパスワード設定などを行うほか、会社のポータルサイト内の情報共有とデータ・アクセス権の管理など、利便性の向上と情報の保護の両面に努めている。また各種書類については用途・機密性に応じた施錠保管も行っている。保護者には入園時に、個人情報の利用目的や開示・訂正・削除請求への対応等を説明している。</p>		

5 職員と組織の能力向上		カテゴリ-5	
		サブカテゴリ-1(5-1)	
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金・昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当	

サブカテゴリ2(5-2)		
組織力の向上に取り組んでいる	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	3/3
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー5の講評 多様な方法での人材の採用から、配置・配属とその後のフォローの仕組みを整えている 本社と連携して職員採用に取り組んでおり、園での見学や面接の対応等を行っている。また採用専用サイトの開設、各種人材採用機関の活用や関連イベント出展、養成校への働きかけや在職者による紹介採用など、多様な方法で人材確保に努めている。配属・異動は各人の希望や適性・経験を考慮しつつ、園の状況を踏まえ本社が判断するほか、園内の担任配置は園の経営層が話し合い、全体のバランスを考慮して決定している。また入社時の研修やその後の主任・各クラスのリーダー等の指導役によるフォローアップ、定期的な「ミッション面談」なども行っている。		
各職位等の要件に基づく個別の評価と目標管理による人材マネジメントを行っている 系列園共通の各職位・職種の職務要件が定められており、「ミッションシート」による個別の評価と目標管理を行うほか、各業務の遂行状況や必要な研鑽・心構えなど職務要件と連動した内容と、各人の目標について、自己・上司評価を実施し、園長との面談などによって課題・目標を本人と共有することとなっている。評価は賃金面や昇級・昇格などにも参考とされ、職員の意欲向上に活かされる仕組みとしている。また新入職員・園長向けの社内研修や講師来園による個別指導「ウイズブックレビュー」のほか、区の研修を活かし、職員の成長支援を行っている。		
各種の研鑽と組織内での課題解決の話し合いを行い、労働環境の諸整備もなされている 前述の社内及び外部の研修に加え、職位・経験に応じたキャリアアップ研修にオンラインにて参加させるほか、成果の共有は主に報告書の供覧にて行っている。また年度末や年度当初の職員会議では園や保育で大切にすることを確認しあったり、グループワークをしたりして、保育の内容や援助のあり方、環境設定などの話し合いと見直しなど、課題解決のための話し合いが持たれている。その他、園長・本社による職員の勤怠・残業や休暇取得状況の管理、園長との面談や本社窓口を通じた職員の意向把握など、労働環境の諸整備がなされている。		

カテゴリー7	
7 事業所の重要課題に対する組織的な活動	
サブカテゴリー1(7-1)	
事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている	
評価項目1 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)	
前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)	
<p>コロナ禍で他の子育て世代と交流もなく、入園後に自分のしてきた子育てが良かったのかなど不安を抱えて過ごしていたり、入園に対しても不安を抱えている家庭もあると考え、園に対する抵抗感を減らし、復職を安心してできるようにしていくことが必要と感じた。そのため、「子育て世代の親子との関わりを大切にしたい保育園作り」として、園に関わっていない人が足を運べるようにすることを目指した。まずは園に関する情報発信が必要であり、ホームページでは入園を希望する方が多いこともあり、より近隣の方が興味を持てるよう、園前に掲示を行うなどの広報に取り組んだ。</p>	
目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評	
<p>地域向けの活動を開始しており、土曜日の給食体験を実施しており、両親で参加してもらうことも可能として、食べさせる感覚や親子での関わり、離乳食の相談に応じている。また栄養士も参加することで、より具体的な相談を受けることができる。</p> <p>コロナ禍ではオンラインでの見学をしていたが、年度後半では対面の見学に切り替えつつ、希望に応じてオンラインも活用できるようにすることで、園のこを知ってもらい、足を運んでもらうことを行った。ただ、在園の保護者が他の方が来園することで、感染症の発生リスクについて、不安に感じることもあることから、1名での参加や土曜日の開催など、双方に配慮した。</p> <p>ただ、参加者には見学等を通じて入園に向けての安心感につながっていたが、入園を希望するというニーズが強いこともあり、本来の地域の方とのつながりが持てることが次なる課題となった。</p> <p>今年は引き続きその取組を継続しつつ、新たな取組を開始したり、離乳食体験は初期・中期・後期と段階ごとの提供を行い、開催の回数を増やしている。</p>	

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

子ども・保護者・保育者のそれぞれの「らしさ」を大切にすることは意識できているが、特に保育者が受け身のような体制がみられていた。また、コロナ禍で距離を取ってきたことにより、さまざまな部分でコミュニケーション不足になったため、保育者同士が自分の思いや考えなどそれぞれの意見を伝え合う場が設けられていなかった。
そのため、そうした場を設け、それぞれの「らしさ」を大切にしたい園・チームづくりを目指した。
メンバーそれぞれの意識を高めるための丁寧なコミュニケーションを心がけ、オンラインとオフラインの会議の形態で、情報共有と個々の思いを伝えあえる場に分け、また集まるメンバーを状況に応じて変化させ、少しずつ子どもや保育に関する話ができるように工夫した。

目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

会議の形態やチームを変えるなど工夫することで、少しずつそれぞれが思いを伝えあうことができるようになってきたとは考えているが、個々にどのような立場として次年度をやっていきたいかといった目標ややりたいことが見えてきたことが、一定の個人の意識向上という成果につながっていると考えている。また、チームといった小さな組織から園全体の組織へと意識が高まり、やってみたいことなどが具体化してきたりするなど、リーダー的な存在が一定数できたことがもう一つの成果と感じている。ただ、個人差があるため、より活性化が継続的な課題となっている。
今年度はリーダー的な役割を与えながら、新たな組織・チームづくりに向けて取り組むこととなった。

Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1~3、6-5~6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ1の講評		
<p>ホームページを通じて、在宅においても園の状況を知ることができるようになっている</p> <p>会社のホームページ(以下、「HP」)には、一人ひとりの「らしさ」を育む保育の特徴の説明を、会社オリジナルの絵本を活用して行う「ウイズブックプログラム」(以下、「WBプログラム」)の紹介とともに掲載している。園のページには、園長からのメッセージや保育時間・年齢別定員等の基本情報のほか、施設紹介の動画、活動報告などを掲載し、在宅においても園の特色や雰囲気が伝わるようにしている。また区のHPへのリンクもあり、区のページでは入園手続きや施設の概要等が掲載されている。</p> <p>見学を受け入れ、大切にしていることや、WBプログラム等の園の特徴を説明している</p> <p>見学はコロナ禍においてはオンラインでの対応を基本としていたが、5類への移行を踏まえてオフラインでの通常の見学としている。見学の際には、会社が大切にしている保育の基本や理念のほか、保育室内の環境面の工夫やWBプログラムの活動の紹介などを行っており、適宜質疑応答の時間を設けるほか、育児相談にも応じている。見学はWBプログラムや午前中の主活動を見ることができるよう、午前10時の受け入れを基本とし、子どもの対象クラスだけでなく、全年齢の保育を見てもらうようにしている。</p> <p>地域子育て支援事業は、園の専門性や特徴を発信する機会となっている</p> <p>地域の子育て世帯を対象として、給食体験では離乳食の実物を提供したり、栄養士から食事や発達の特徴に関する話をするほか、育児相談や園内の見学にも応じている。離乳食体験は初期・中期・後期に分けて実施している。また「どんぐりクラス」では、保育室に入って主活動やWBプログラムを体験できるようにしており、在園児との交流も図られている。これら地域支援の取組では、園の保育やWBプログラム、保育者の様子などを知ってもらい機会にもなっている。</p>		

サブカテゴリー2		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	6/6
2 サービスの開始・終了時の対応			
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当	
サブカテゴリー2の講評			
<p>「入園のしおり(重要事項説明書)」をもとに説明を行い、保護者の同意を確認している</p> <p>入園前の「入園のしおり(重要事項説明書)」の説明は、コロナ禍以降、説明の動画を配信して視聴してもらうこととしており、個別面談の際に動画視聴の状況を確認するとともに、荷物の用意や登園時の流れ等、入園後の具体的な説明は個別の面談で行っており、入園後にも不明点には丁寧に応じるようにしている。これらを踏まえ、重要事項説明書や個人情報の取り扱いに関する同意を、書面への署名にて確認している。新型コロナの5類感染症への移行を踏まえ、令和6年度の入園説明からは、対面の個別面談で実施する予定としている。</p> <p>個別面談により子どもと保護者の情報を把握し、職員間で共有している</p> <p>個別面談を実施し、「入園までの生活状況」「家庭状況」「予防接種記録表」等の提出書類を確認するとともに、「入園時面談シート」に沿って、食事・睡眠・排せつ等の生活面、アレルギーの有無や健康面の留意事項のほか、子どもの特性や保護者の就労状況などを聴き取っている。また0・1歳児や食物アレルギー等がある場合は、栄養士も聴き取りを行っている。面談後、これらの内容を園長・主任で確認し、気になる様子がある場合には、囑託医への相談や職員間の情報共有に努めるなど、安全な保育実施に向け、確かな情報の把握と共有に努めている。</p> <p>入園直後やサービス終了時において、子どもや保護者の不安の軽減に努めている</p> <p>区の方針により、保育開始後に徐々に保育時間を延ばしてゆく「慣らし保育」は設定していないものの、保護者が希望する場合には、1週間を目安に実施し、子どもと保護者の負担と不安の軽減に努めている。慣らし保育期間中は、スキンシップを図ったり、好きなことを探したりしながら、子どもが安心して過ごせるようにしている。また保護者の不安を軽減できるよう、子どもの状況を肯定的に伝えるようにしている。サービスの終了時には、不安を軽減できるよう保護者とコミュニケーションをとり、必要な場合や希望に応じて面談も行っている。</p>			

サブカテゴリ-3		
3	個別状況に応じた計画策定・記録	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 13/13
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、保育の過程を踏まえて作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3 子どもに関する記録を適切に作成する体制を確立している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報について、職員間で申し送り・引継ぎ等を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども一人ひとりに対する理解を深めるため、事例を持ち寄る等話し合う機会を設けている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ3の講評		
全体的な計画をもとに、子どもの成長に即した指導計画を作成している 全体的な計画を作成し、本部の理念や園で大切にしていることを踏まえて、保育指針と照らし合わせながら年・月・週の指導計画を作成している。月案はクラスで話し合い反省や自己評価を行い、ICTシステム上で共有して次の計画につなげる仕組みとし、日々の振り返りは保育日誌に記載している。0～2歳児や個別支援が必要な子どもには、個人別の月間計画の立案と評価・反省を行い、クラス担任で話し合い翌月の課題・目標を作成している。各計画は成長発達の見直しを持ち、子どもの興味・関心に応じて見直し、次の計画に反映している。		
子どもの発達や家庭の状況把握、計画の見直しなど、手順を定めて行っている 子どもの状況は、主な発達の現れを0～2歳児は毎月、3歳以上児は3か月ごとに児童票に記入し、ICTシステムや職員会議などで共有している。体格的な成長は毎月身体測定を実施して把握・記録している。家庭の状況に関しては、日々の保護者との対話や連絡帳に記入された内容と、希望や必要に応じて実施する個人面談を通じて把握し、組織内で共有している。指導計画は、年・期・月・週など定められた時期に見直し、個別計画については月ごとに立案と評価・反省をしており、各種書類は園長と主任が確認し、ICTシステムを用いて管理している。		
子どもの状況を職員間で共有する仕組みが整えられ、保護者とも共有している 職員は出勤の際に全体の伝達ノートを必ず確認することとし、ICTシステムの職員連絡や職員用のSNSも活用している。登降園チェック表やクラスの伝達ノートに連絡事項を記載し、当番保育時の引き継ぎの際は伝達ノートを見ながら確認している。日々の話し合いや会議では、個別の指導計画の内容に加えて、必要な支援や配慮なども共有している。保護者には全体的な計画を配付し、月案や週日案、ウイズブックイングリッシュのカリキュラム等を掲示し、日々の様子は連絡帳などで知らせ合うとともに、個人面談で家庭状況の把握にも努めている。		

サブカテゴリー5		
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している <p style="text-align: right;">評点(〇〇)</p>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</p>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当
サブカテゴリー5の講評		
子どものプライバシーの保護や羞恥心に対する配慮を行っている 入園時には、保護者に個人情報利用に関する同意書を提出してもらい、新たな情報をやり取りする際には、つど保護者の同意を得るようにしている。おむつ替えや着替えなどは周囲からの視線を遮る場所で行い、必要に応じてカーテンを使用しており、子どもには全裸にならずに上下別で着替える方法を知らせている。また、排せつの失敗の際は周囲に気づかれないよう素早く対応することや、注意を伝える際には注目が集まらないようにするなど、子どもの羞恥心にも配慮している。保護者に話をする際は、内容に応じてほかの人に聞かれないよう心がけている。		
子どもの特性や体質の把握と、個々に応じた援助に努めている 入園時には、各種の書面や面談を通じて、子どもの発達状況や体質のほか、保護者の育児に対する意向等を把握しており、個々の状態や要望に応じた援助・配慮に努めている。特別な配慮を必要とする子どもへの援助では、個別の指導計画を作成するほか、臨床心理士の巡回指導を受け入れ、観察後のカンファレンスで得た助言も参考としている。集団活動が難しかったり、食事で苦手なものがあったりする場合には、その子の気持ちや心身の状況を尊重し、無理強いせず、体験が失われないよう、状況を見ながら誘いかけるなどの援助を心がけている。		
虐待の早期発見・通報の流れを整え、不適切な保育の防止に向け、自省を促している 会社共通の「緊急時対応フロー」には、虐待が疑われる際の対応フローが示されており、家庭での育児不安や虐待の疑いがある場合に備え、関係機関との連携・対応体制を整えている。「保育ガイドライン」に『「したくない保育」チェックリスト』を収めており、個々の職員が自己チェックを行い、自省につなげている。チェックリストには、朝の受け入れ時・自由遊び・園外保育・食事・排せつなどの場面の「したくない保育」の関わりを具体的に示している。会議の中でも、制止をする言葉がけを控え、できる限り肯定的に子どもに伝えることを確認している。		

サブカテゴリ-6		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	5/5
6 事業所業務の標準化			
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当	
サブカテゴリ-6の講評			
会社共通の手引き書類に業務の標準を示し、活用できるようにしている 「保育ガイドライン」に保育実践における基本的な考え方や環境構成、年齢ごとの配慮、NGワード等を示しており、実技に関する基本を収めた映像教材も用意している。「運営マニュアル」には、運営理念・安全対策・WBプログラム・感染症・食事介助・虐待防止等、業務全般に関する業務の標準を示すほか、資料としてフローチャート一覧も綴っており、緊急時等の対応の流れの視覚的な把握に役立っている。これらの会社共通の手引類により業務の標準を示し、必要時に活用できるようにしている。			
マニュアルや一覧を用意して必要時の対応に備え、基準を見直す仕組みを整えている 上記に加え、事務所には事故防止や感染症、アレルギー対応等の公的なガイドラインも常置するほか、事故対応やSIDS対応の流れなどを掲示し、随時確認ができるようにしている。緊急連絡一覧表も作成し、災害・事故などでの速やかな対応に備えている。嘔吐処理やSIDS対策、散歩の流れなど、保育実践における留意点等は、内容を確認するよう会議での啓発がなされている。各種マニュアルの変更は、本部の園長会で検討・決定され、決定内容が各園に展開されることとなっている。園内においては、各種の会議で検討や情報共有を行っている。			
保育の質の向上や業務改善に向け、職員の気づきや保護者の意見を活用している 職員の自発的な気づきや提案を積極的に採用し、サービスの質の向上や業務改善を進められるよう取り組んでいる。今年度は、職員のアイデアから「親子レク」を実施しており、親子でフットサルを体験したり、パン工場に見学に出かけたりしている。また保護者との日々の送迎時の対話や連絡帳のやり取り、保護者会、個人面談、連絡アプリでのアンケートなどを通じて、保護者の意見や要望の把握に努めている。寄せられた意見や要望等は、園内で内容を検討し、改善につなげるほか、対応や方針を保護者会・運営委員会で回答する仕組みとしている。			

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

		サブカテゴリー4	
サービスの実施項目		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	36/36
1	評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている	評点(〇〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目1の講評			
<p>子どもが主体的に生活や遊びを進められるよう、環境構成を工夫している</p> <p>子どもの発達状況については、発達記録を記入して打ち合せの機会を持ち、把握した情報を踏まえて援助・配慮し、環境構成の工夫につなげている。コーナー設定や玩具の種類、並べ方、用意する数など、子どもが自発的に遊びを選ぶことができるように、子どもの発達に即した環境設定について話し合いを進めている。例えば0・1歳児では、多目的に使える長方形の箱を用意し、積んだり動かしたりなど見立て遊びを楽しめるようにするほか、2歳児にはエプロンなどの小道具を用意してごっこ遊びの発展を図り、3歳以上児では文字や数字への興味も育てている。</p> <p>一人ひとりの発達や特性を踏まえ、子どもの気持ちを尊重した保育実践に努めている</p> <p>トラブルが起きた場面だけでなく、その前後も把握できるよう子どもの様子を丁寧に観察し、子どもの気持ちを尊重した対応を心がけている。口論中はすぐに介入せず自分たちで解決できるように見守り、危ない場面では一旦止めたうえで保育者が仲立ちとなり気持ちを伝え合う経験を積めるようにしている。かみつきが多い年齢では、遊びを邪魔しないように気をつけながらさりげなくそばにいて、すぐに止められるようにしている。個別支援や配慮が必要な子どもに対しては区や家庭とも連携して関わり、無理なく一緒に過ごせるような介助を心がけている。</p> <p>異年齢保育を通してともに成長できるよう援助し、小学生との交流の場も設けている</p> <p>異年齢で関わる時間を増やすことを目的に、3歳以上児は縦割り活動を週1回行っている。面倒を見る・見られる体験を重ねることで、年上児は年下児に優しく接したり、年下児は年上児のまねをしたりなど、互いの成長にとってよい刺激を送り合っている。乳児クラスとは不定期に交流を実施するだけでなく、日頃の当番の時間や土曜日保育についても、異年齢で楽しく遊べるように工夫している。小学校との連携は相手先で受け入れ不可な状況が続いているため、在園児の兄弟姉妹を中心に保育ボランティアを募集し、小学生を園に呼んで交流を図っている。</p>			

2 評価項目2

子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当

評価項目2の講評

基本的な生活習慣の自立に向けた援助では、子どもの発達と意欲を大切にしている

トイレトレーニングでは子どもが嫌にならないようにと考え、園主導ではなく保護者の要望を受けてから実施する形を取っている。手洗い場の手洗いの手順を示した写真を掲示し、箸を使用し始める際は自分で食べられるようスプーンも用意するなど、子どもが無理なく生活習慣を身につけられるよう配慮している。食事面では完食を無理強いせず、残したい気持ちを受け入れて食への意欲を損なわないよう心がけている。援助する際は手順を言葉で知らせながら介助し、自分でやりたがる時には子どもの意欲を尊重して見守ることを大切にしている。

登降園時には、保護者と園で子どもの様子を伝え合っている

ICTシステムを用いて、園と家庭とで子どもの様子をやり取りしている。0～2歳児は個別の連絡帳として、食事・睡眠・排せつ・活動の様子などをお互いに把握している。3歳以上児は体温と午睡時間を毎日、個別のエピソードは週1回配信し、毎日の活動はボードに記載して知らせている。朝は保護者からの発信をシステムで確認し、受け入れの際にその内容を把握するほか、直接口頭でも健康面や個別の連絡事項を確認しており、知り得た情報は登降園チェック表や伝達ノートにて職員間で共有し、保護者との信頼関係の構築に努めている。

子どもの状況に応じた休息を取り、心地よく生活できるようにしている

乳児クラスでは、食事前に眠くなる子には仮眠を取らせることもあり、食後には自分のタイミングで布団に横になれる環境を整えるなど、個別に対応できるような配慮をしている。またマットを設置したり、落ち着いて遊べるコーナーを用意したりなど、午睡以外でもリラックスできる環境を整えるほか、眠れない子どもには目をつぶることを強要せず、横になって身体を休めるように伝えている。午後のおやつは一斉に食べ始めるのではなく、自分のタイミングで食べられるようにし、昼寝からの目覚めの時間をそれぞれに合わせて過ごせるように配慮している。

3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(〇〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉(発声や喃語を含む)や表情、身振り等による応答的なやり取りを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがまじりの大切さに気づき、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当
評価項目3の講評		
<p>子どもの自主性を尊重した支援に努め、思いやりの気持ちを育てている</p> <p>子どもが自分で選んで遊びこめる環境と空間を整えることに努めている。大きい玩具は下に置き、その他の玩具や絵本は階段式の棚に設置するなど、子どもが自分で手に取りやすいような工夫をしている。活動への参加は子どもの様子に合わせて柔軟に対応し、今は何をやる時間なのかを自分で気づけるような言葉をかけ、待つようにしている。決まりは規則という観点ではなく、クレヨンなどの道具は園のものという位置づけで、貸し借りする機会を設けて譲り合いの気持ちを育んだり、折れたえんぴつは削っておくなど相手への思いやりとして知らせている。</p> <p>子どもたちは絵本を使用したプログラム活動や、英語活動を楽しんでいる</p> <p>本部オリジナルの絵本を使用した「ウイズブックプログラム」を採用している。毎日絵本の読み聞かせを行い、活動に発展させている。例として「おせんべい」という絵本を読んだあと、材料のお米や作り方の紹介をし、最後は自分たちでおせんべいを作って食べるところまで継続的な活動として取り組んだ。また交通ルールの絵本を読み、スタンプラリーを用意して交通ルールを守りながら散歩に行くなど、実際の体験につなげている。英語活動は3歳以上児を対象に毎日オンラインで実施し、外国人講師とのやり取りを通して英語に親しんでいる。</p> <p>目的を持って戸外活動を行い、季節を感じながら自然に親しんでいる</p> <p>ほぼ毎日、戸外活動を行い、午前中だけでなく夕方にも出かけている。散歩に出かける際には、それぞれのクラスが目的に沿って計画を立てており、園内に散歩マップを掲示して、保護者に散歩先を知らせている。年齢に応じて探索を楽しみ、固定遊具や広い場所で身体を使って遊んだり、自分で作った散歩バッグを持って自然物を拾ったりなど、開放感を味わいながら楽しんでいる。拾ってきた自然物はリース作りや葉の写し絵などの制作活動に活かすほか、商店街が近いという地の利を活かし、地域の方との交流も楽しんでいる。</p>		

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
評価項目4の講評		
<p>行事は普段の活動からのつながりの中で、子どもの主体性や協力する姿勢を育んでいる</p> <p>縦割り活動を通してお互いに協力し合うことを大切にしており、縁日会では縦割り活動のチームごとに担当する部分を割り当て、協力してお神輿作りを行っている。運動会は縦割り3チームの対抗戦で実施し、障害物競走やリレーなどの種目をチームで練習し気持ちを高めている。お店屋さんごっこでは、店の内容や売り物を子どもと話し合っ決めて、子どものアイデアを活かして廃材で売り物を制作している。「ウイズブックプログラム」や日頃の活動の中で、自分の気持ちや意見を言う機会を採り入れることで、活発な意見交換につながっている。</p> <p>季節や文化を体験する行事が年間を通じて行われている</p> <p>日本文化の体験として月2回の郷土料理の提供や餅つきなどを行い、年始には園から子どもに年賀状を出し、受け取る喜びを感じるとともに日本の伝統的な習慣に触れる機会としている。年長児は特に活動の機会が多く、4月と3月はお茶会に参加し、年2回のプラネタリウム見学では違う季節の星空を堪能し、系列園の年長児とはサマーキャンプで交流するなど、園内外を問わずさまざまな経験を積んでいる。縁日会では手作りのお神輿を担いで地域を練り歩いたり、ハロウィンでは仮装して親交のある施設を回るなど、地域を巻き込んで楽しんでいる。</p> <p>保護者参加の行事を行い、楽しさと子どもの成長を共有している</p> <p>運動会では保護者の恒例の参加種目として、親子リレーや綱引きを実施している。0歳児は運動会に参加しないため、今まで平日に行っていた保護者会を土曜日に変更し、運動遊びを親子で楽しむ機会を設けた。不定期ではあるが親子イベントを実施していて、職員が自発的に自分の得意な分野を活かして企画している。内容は芋掘り、ヒップホップを踊る、スコーン作りなど多岐にわたり、園外に出かけたり、他施設を借りたりなど、自由な発想で開催している。また、クリスマス会のサンタ役は保護者から募るなど、子どもの活動に直接携わる協力も得られている。</p>		

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当
評価項目5の講評		
<p>保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせる配慮をしている</p> <p>子どもが安心して満足して過ごせるよう、好きな遊びが選べる環境を整えている。くつろげるスペースや遊びこめるコーナーを設置し、長時間生活する中でゆったり過ごせるようにしている。また子どもが寂しくならないよう、それぞれの気持ちに配慮した個別の関わりを大切にするほか、当番はできるだけ乳児1名、幼児1名になるよう配置し、知っている職員がいる安心感を得られるようにしている。少人数だからこそ楽しめる遊びを用意したり、玩具を出しすぎないようにしたりなど、年齢差のある中でも安全に楽しんで遊べるよう心がけている。</p> <p>職員体制や申し送りの仕組み、安全・安心な環境を整えている</p> <p>早番や延長番の仕事内容や手順を整え、誰もが同じ手順で仕事ができるようにしている。夕方から段階的に合同保育を進め、延長保育は玄関にも近い1階の部屋を使用し、全学年合同でも安全に過ごせるように配慮している。遅番の担当者は伝達ノートや登降園チェック表を引き継ぎ前に再度確認し、担任からの申し送り事項の伝え忘れのないように留意している。延長番の状況や受けた伝達は伝達ノートや日報に記載し、翌朝の早番を始め職員が出勤時に確認することで保育につながりを持たせ、保護者が安心して預けられるように努めている。</p>		

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(00000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者や地域の多様な関係者との連携及び協働のもとで、食に関する取り組みを行っている	○非該当
評価項目6の講評		
<p>子どもが楽しく食べられるように工夫している</p> <p>バランスを考え、見た目や量、味にも工夫した食事を提供している。季節の行事ではそれにちなんだ行事献立を提供し、食事面からも行事についての理解を深めている。0・1歳児では少人数で食べられるような配置にして丁寧に見守り、安心できる環境の中で授乳や食事をしている。2歳児以上は子どもたちの目の前で担任や調理担当が盛り付けることで、子どもに合った量を加減し、より温かい状態で提供している。保育者や時には調理担当も一緒に食事をし、食事のマナーや食具の使い方を知らせながら、皆で楽しく食べられるように配慮している。</p> <p>食物アレルギーの対応を含め、安全に食事を提供できるよう連携を図っている</p> <p>献立は園の栄養士が作成し、卵は一切使用しない献立になっている。給食会議を月に1回行い、調理担当・園長・主任で喫食状況を確認し、調理担当は毎日喫食状況を見回っている。食物アレルギー児には医師による指示書に基づき、園のマニュアルに則り除去食を提供している。指示書は看護師が管理し、食材チェック表を見ながら保護者と面談をしたうえでアレルギー対応を開始し、保護者には毎月献立を確認してサインをもらっている。提供の際は色の違うトレーや食札などを使用し、給食室で盛り付け、調理担当と担任で確認したものをクラスに運んでいる。</p> <p>郷土料理の紹介などの食育活動を行い、保護者とも食事の状況を共有している</p> <p>調理担当と連携して、日本中の郷土料理を知らせている。玄関先の廊下に日本地図と郷土料理のポップを掲示し、めくると写真と内容が見られるように工夫している。食育は月1回行い、食材の紹介をしてから調理する様子を見せたり、調味料の味比べをしたりなど、食に対するさまざまな興味・関心を育んでいる。保護者向けには毎月食育便りを発行し、旬の食材など食にまつわる話題を提供している。また、年に数回申し込み制で夕食体験を実施し、クラスで一緒に食べることで園の味を知るだけでなく、保護者や職員とも親睦を深める機会になっている。</p>		

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当
評価項目7の講評		
<p>子どもが健康や安全への意識を持てるよう、保健指導・安全教育を実施している</p> <p>子どもが自分の身体や健康、安全への意識を高め、知識や所作を獲得できるよう、保健指導や安全教育を実施している。保健指導では、看護師と保育者が連携を図り、手洗い指導等を行うほか、日々の保育における援助を通じて、所作や必要な場面、意味などを伝えている。また歯科医師による歯磨き指導も実施されている。また運動遊びや公園等で遊ぶ際や、ハサミなどの危険な道具を使う際には、危険なことや約束事を確認するほか、交通ルールについても適宜教えている。毎月の避難訓練では、自分の身を守るための行動や姿勢などを伝えている。</p> <p>保護者や専門機関との連携のもと、子どもの健康・安全面の配慮に努めている</p> <p>入園時には、子どもの健康状態や既往歴、予防接種の履歴等を保護者からの聴き取りや各種書類から把握している。食物アレルギー等の個別の配慮が必要な場合は、医師の指示のもとで、園の仕組みに則った適切な援助に努めている。園内でケガ等があれば、保護者に確認をとって受診することとしており、緊急連絡一覧に近隣の病院をまとめ、すぐに受診できるようにしている。与薬の希望がある場合は、投薬申込書の提出を受け、対応することとしている。嘱託医・嘱託歯科医との連携体制を整えており、医療情報の提供や必要時の助言などに応じてもらっている。</p> <p>保護者への保健情報の発信に取り組んでいる</p> <p>保護者への保健情報の発信に取り組んでいる。入園時には、重要事項説明書を用いて、園での健康管理や感染症等に対する方針や決まりを伝え、協力と理解を呼びかけている。また保健便りや食育便りを定期的に発行しており、身体、生活リズム、感染症、食事と健康等に関する情報等を掲載し、連絡アプリで配信するほか、園内にも掲示している。感染症が園内で発生した際は、玄関のホワイトボードで、感染症名と人数を保護者に伝え、予防を促している。この他、行政が随時発行する安全・保健に関するチラシの掲示・配付を行っている。</p>		

8	評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇〇)
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目8の講評			
<p>子どもや保護者の状況を踏まえた支援に努め、利便性の向上にも配慮している</p> <p>子どもの特性や体質等のほか、保護者の育児に関する意向等の情報の把握にも取り組んでおり、個々の状況に応じた支援に努めている。就労等による延長保育や土曜保育を受け入れており、19時以降は保護者の希望に応じて補食を提供し、可能な限り柔軟に対応するようにしている。エプロン・口拭き等は園で準備するとともに、オムツのサブスクリプションを希望者が利用できるようにしている。また持ち帰りのシーツや帽子を園に忘れた際にも、園で洗濯を代わって行うなど、保護者の負担軽減や利便性の向上に配慮している。</p> <p>保護者同士が交流を図る機会を設け、保護者に保育や子どもの様子を伝えている</p> <p>保護者同士が交流する機会として、保護者会では自己紹介や育児について話す時間を設けるほか、運動会では親子競技を採り入れたり、さまざまな「親子レク」を企画したりしている。保護者との信頼関係を深められるよう、前述の親子レクのほか、対話や説明の機会を設けており、保護者会では、保護者に子どもたちの成長・発達の状況やWBプログラムの内容、日中の活動、食事や睡眠の様子などについて写真を用いて説明している。また今後の成長の見通しや持ちものの準備など、保護者の協力や保護者との連携が必要なことの説明や依頼を行っている。</p> <p>育児不安の解消や、家庭での生活や遊びの充実に向けた情報提供等に取り組んでいる</p> <p>玄関ホールや廊下には、行政等が発出する保健や食事、虐待の防止・相談先などの啓発ポスターを掲示し、リーフレットは自由に持ち帰れるようにしている。園便りでは、子どもたちの様子や活動内容、WB絵本や歌を紹介し、保健便りでは、流行が予想される感染症や身体・健康に関する情報を、食育便りでは行事食や栄養と身体の関係、食具の使い方などの情報を発信している。また園で提供する料理のレシピを提供したり、絵本の貸出を行ったりするなど、育児不安の解消や、家庭での生活や遊びの充実に向けた情報の提供等に取り組んでいる。</p>			

9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 園の行事に地域の方の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目9の講評		
<p>地域や社会の資源を活用した活動を通じてさまざまな人との交流が図られている 近隣のケアホームとの交流の機会を毎月複数日設けており、公園でふれ合いを楽しんでいる。会話したり、一緒に手遊びをしたりするほか、砂場で作ったものや捕まえた虫を見せるなどの関わりが持たれている。夏祭り際には神輿を担いで近隣をまわって祭りの雰囲気を楽しむ、地域の方から声をかけてもらったり、挨拶したりしている。ハロウィンパレードでは、子どもたちが家庭からそれぞれに持ち寄った衣装に着替え、ケアホームやパン粉工場、公園などに立ち寄り、地域の方とふれ合っている。</p> <p>園に多様な人を招き入れ、子どもたちと関わる機会をさまざまに設けている 今年度、講師が来園してのスコーン作りや味噌作り、元プロサッカー選手の指導のもとでのサッカー体験、海外の砂漠マラソンに参加した保護者の話を聴き、実物の荷物や写真を見せてもらうなどして、子どもたちの興味・関心の幅が広がっている。消防署員・警察署員による避難訓練や不審者訓練の際には、子どもたちは自分の身を守るための行動や姿勢、心得などを学んでいる。小中高生の保育所体験を受け入れており、一定期間子どもたちとの関わりが持たれている。またクリスマス会の際には、保護者がサンタに扮して子どもたちを喜ばせてくれている。</p> <p>社会のさまざまな施設を活用した体験の機会が設けられている 地域や社会の施設等を活用した活動を行っており、プラネタリウムに出かけて夜空や天体への興味を促すほか、バスを利用してふれ合い動物園に出かけている。系列園との交流が図られており、年長児が合同で水の科学館に出かけるほか、会社が企画する任意参加のサマーキャンプでは、系列園の親子と筑波山登山を体験している。パン粉工場の方との交流も図られており、工場内を親子で見学し、話を聴いたり、生地に触らせてもらったりしている。また親子で練馬区の農園に出かけ、芋掘りの体験をしている。</p>		

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-1	子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている
タイトル①	縦割り活動を定期的に行い、協力する気持ちや思いやりの気持ちを育んでいる	
内容①	異年齢で関わりを持つことを目的に、3歳以上児は週1回、縦割り活動の日を設けている。昨年度までは行事の前に集まる程度だったが、今年度は定期的に行い、まず最初にチーム名をメンバーで決めることから始め、行事では一つの目標に向かって皆で取り組み、縁日会のお神輿作りはチームで協力して完成させる経験につながっている。運動会は3チーム対抗で行われるため、当日までリレーなどの練習に取り組み、本番では喜びや悔しさを共有している。定期的に縦割り活動を行うことで子ども同士の関係も深まり、保護者からも好意的な反響を得られている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	3-3-2	地域の福祉ニーズにもとつき、地域貢献の取り組みをしている
タイトル②	地域向けの活動の再開や拡充など、地域に開かれた園づくりを進めている	
内容②	社会や地域の状況や新型コロナウイルスの5類への移行などを踏まえ、地域向けの活動の再開や拡充を行っており、見学等の受け入れとともに、今年度の離乳食では初期・中期・後期といった段階ごとの提供を行うことで、より細やかな支援を行うほか、「とまりぎステーション」を開始し、在園の保護者のお迎え時のほっとできるスペースであり、かつ地域の方のオムツ替えや水分補給などの休憩や寄り道ができる場所を提供するなど、開かれた園づくりに取り組んでいる。また中断していた地域とのつながりは、公園でのケアホームの方との交流を再開している。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-5-2	サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している
タイトル③	子ども一人ひとりの「らしさ」を育むための取組を行っている	
内容③	「心の安定」「快動」「自律」を基軸に、子ども一人ひとりの「らしさ」を伸ばすことを大切にしており、保育者への研修は、一人ひとりのその子「らしさ」を伸ばす、大人の関わり的重要性を、ケーススタディなどを交えながら学んでいる。また会社の試行的な取組として「作戦会議」と呼ばれる専用のシートを用いた面談を実施している。会社の研修を受けた保護者と保育者が、それぞれの立場からその子の「らしさ」を育むべく、子どもの素敵なところと気になるところ、伸ばしていきたいところなどのほか、成長の見通しや今後の取組を話し合っている。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	「ウイズブックプログラム」の活用や調理担当との連携を通して、さまざまな食育活動に取り組んでいる
	内容	園では調理担当とも連携して食育活動を行っている。月に2回郷土料理を採り入れ、提供日には調理担当が子どもたちに詳細を紹介している。玄関先の廊下には日本地図と郷土料理のポップを掲示し、ポップをめくると料理の写真と内容が表示されるなど、送迎時に親子で楽しめるような工夫をしている。また、オリジナル絵本の読み聞かせを毎日行い、絵本の世界を食育活動にもつなげている。例えば「おせんべい」の絵本を読んだ際には自分で作ったおせんべいを食べる体験へと展開し、感動を言葉で表す経験や科学的な探求心を得られる活動となっている。
2	タイトル	日本文化の体験や園外活動など、子どもの経験を豊かにする多彩な活動を提供している
	内容	日本の文化を体験できる活動として、月2回の郷土料理の提供や5歳児を対象とした年2回のお茶会、餅つきなどを行い、年始には園から子どもに年賀状を出し、受け取る喜びを感じるとともに日本の伝統的な習慣に触れる機会としている。園外活動も多岐にわたり、年2回のプラネタリウム見学や縦割り遠足、系列園の年長児との交流、地域の近隣園との活動など、子どもの経験を豊かにする活動を提供している。高齢者施設や工場にはハロウィンやお神輿の立ち寄り先として協力を仰ぎ、散歩では商店街の方との交流を楽しむなど、地域とのつながりを深めている。
3	タイトル	園と保護者、保護者同士の関わりや信頼関係を深められるよう、保護者参加の行事を企画し、育児の参考となる情報を提供している
	内容	園と保護者、保護者同士の関わりや信頼関係を深められるよう、保護者会では子どもの成長や保育内容等を写真を用いて伝えるほか、育児に関する関心ごとを自由に懇談したり、情報交換したりできる時間を設けている。そのほか、保育参観や個人面談を行い、保護者と子どもの育ちを共有し、相談にも応じている。また今年度「親子レク」として、親子でフットサルや芋掘り、ヒップホップダンスなどを楽しみ、交流を図るイベントを企画している。子どもの育ちを支える専門施設として、子どもの発達や生活、遊び、食事等に関する情報を保護者に提供している。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	地域に開かれた園づくりに向け、組織内での認識を深めつつ、地域の方の認知度の向上や参加促進の工夫などに期待したい
	内容	「とまりぎステーション」として、保護者が一呼吸をして迎えるような場所を設けており、在園児以外の方でもオムツ替えスペースや水分補給などの寄り道の場所として利用してもらい、そこから子育ての話をしたりして、地域子育て支援の「どんぐりクラス」への参加やその後の関係づくり等につなげたいと考えている。この実現のためにはコロナ後の地域交流の考え方を組織内での理解を深めるとともに、地域の方々の各取組の認知度の向上や参加促進のための工夫などが課題となっているため、地域に開かれた園づくりに向けた今後の取組に期待したい。
2	タイトル	各自の積極性や職員間の同僚性を高めていきたいと考えているため、今後の進展と成果獲得に期待が寄せられる
	内容	職員自身が考えたり、行動しながら、それぞれの「らしさ」を大切にしたい園・チームづくりを目指し、各自のやりたいことを見つけ、その具現化ができることに努めている。今年度はリーダーを中心としながらさまざまな取組を行ったり、会議でのグループワーク等に取り組んできたが、諸事情により中断を余儀なくされており、今後の再開と組織内でのチーム活性化が課題となっている。各自やそれぞれの得意や特性・傾向などを考慮しながら、各自の積極性や職員間の同僚性を高めていきたいと考えているため、今後の進展と成果獲得に期待が寄せられる。
3	タイトル	各期間において園の目指すことや方向性を示し、職員と共有しながら組織的に展開していくための工夫も一考されたい
	内容	中期計画書に目標・ビジョン・運営理念と目指す子どもの姿を示したうえで、運営と保育の2つの軸をもとに、2023年度とそれ以降の重点的な項目を列挙するほか、保育や保護者・地域への支援、人材育成や組織運営、安全管理などの各分野について、年度の園の方針や取組内容を定めた事業計画を作成している。各計画の連動性を高めることや、より具体的な内容や指標などを定めることにさらなる向上の余地がある。短期や単年度、2～3年といった園で目指すことや方向性を職員とも共有しながら、組織的に取り組む工夫も一考されたい。